

K o t t o m a l e の農村集落の状況についての調査

2008年3月2~5日

日本フェアトレード委員会

1、目的

私たちのJICAのプロジェクトを円滑に進めるために、また、報告書として記録をしていくために必要な、基本的な情報を正確に得るためです。

2、調査地域

今回プロジェクトの対象になっている、DEHEMI Farmers Organization のラワナゴタ村でコーヒー生産を行っている全農家が対象です。できれば、そのうち数個の農家について聞き取りを行えることが望ましいです。

3、調査項目

(1)農業局に対しての調査項目と用意してほしい文書類

- a. K o t t o m a l e の地図または地形図
- b. 対象地域の土壤のについての概要
- c. 気候区分
 - ・ 月別年間降水量
 - ・ 月別気温
 - ・ 月別湿度
 - ・ その他の気候的な特徴

(2)主要作物

- ・ 農業の総生産額
- ・ 種類別の生産状況
 - 穀物、野菜、果樹、工芸作物(Material of industry)、
 - 香辛料
 - コーヒー
 - 紅茶
 - その他、自給的な特殊な作物など

- ・ それらのうち、自給的な作物と換金作物の状況

(3)農家労働力の状況(これはラワナゴタ村だけでもいいです。)

- ・ 一戸あたりの農業従事者数
- ・ 出来れば年齢別に何人いるかを知りたいと思います。

年齢	人数
16歳未満	

16歳以上20歳未満

20 ~30

30 ~40

40 ~50

50 ~60

60歳以上

高齢者の労働力利用の状況に特徴があればさらに詳しく知りたい。

- ・生産活動は家族単位なのか数個の農家が一緒になってやるか?
- ・労働時間の状況
- ・農業以外への就業の状況(いわゆる兼業; Kengyou)
- ・若い人たちの就業状況の概要

毎回集会場に訪れる層が基幹的農業従事者の数が少ないので、出稼ぎや日雇いなどの肉体労働や歳への就労に出ているのではないかという疑問をもったからです。プロジェクトを担う農家労働力の状況によっては、協同組織を組む上で工夫が必要になってきます。

(4)農村共同体の状況

- ・ラワナゴタ村の歴史
- ・富裕層低所得層などの状況(差し障りがあれば、これは概要で口頭でもいいです。)

- ・一番古いまたは実力者的一族はどの農家か。

- ・各戸の配置図(ラワナゴタ村は、沢または生活道路に沿って分布し広がっていると思われる所以、上流から下流までのどこに住宅が配置されているかを知りたいと思います。)

- ・土地所有関係の状況

自作農 landed farmer

小作農 tenant farmer

出来れば、土地所有や小作面積別の農家階層の状況を知りたいと思います。

- ・自覺的につくられた共同体の状況

たとえば、DEHEMI Farmers Organization とか、すでにある出荷組合とか、アラビア商人が組織しているようなものがあれば紹介して下さい。

- ・自然発生の共同体の状況(これは現地で説明しながら聞き取りさせていただきたいと思います。)

(5)農家経済の状況

(6)農業生産に関わる衛星や労働災害などの状況

(7)農業の教育や技術の伝承の状況

以上

以上の内容は一度に収集すべきものではありません。ゆっくり現地の方と交流しながら実施します。